

は し が き

令和4年度の県税決算額は、調定額が9,607億764万円（対前年度比3.9パーセント増）、収入額が9,487億9,640万円（対前年度比4.0パーセント増）で、企業業績の回復により、法人二税が増収となったほか、地方消費税についても、原油価格等の高騰に伴う輸入額の増により増収となったことなどから、税収は過去最大となりました。

また、令和5年度へ繰り越された滞納額は、収入未済額の縮減に着実に取り組んだ結果、多くの税目で前年度に比べて減少し、県税全体では約7億円減の109億8,544万円（対前年度比6.3パーセント減）で、徴収率は前年度と比べ0.2ポイント上昇し、98.8パーセントとなりました。

本県の税収は、3年連続で過去最大となりましたが、世界的な金融引き締め長期化に伴う海外景気の悪化や物価高騰の影響により、企業収益の悪化等が懸念されるなど、税収の見通しが極めて不透明な状況となっています。

今後も社会保障費など義務的経費の増加が見込まれることに加え、防災・減災対策や公共施設等の老朽化対策などに取り組んでいく必要があります。

このような状況の中で、将来にわたって多様な県民ニーズを踏まえた施策を展開していくためには、持続可能な財政構造の確立が不可欠であり、自主財源の根幹をなす県税収入を安定的に確保していくことが重要です。

このため、社会経済情勢の変化を踏まえた納税環境の整備を進めており、令和5年度から、納税通知書等に記載された地方税統一QRコード（eL-QR）をスマートフォンで読み取ることにより、クレジットカードやインターネットバンキング、スマートフォン決済アプリなどで簡単に納付ができる「地方税お支払サイト」を自動車税に導入しました。

徴収対策としては、令和4年3月に「千葉県県税特別徴収対策計画」を策定し、徴収率を令和6年度末までに全国30位以内、令和13年度末までに15位以内とする目標を掲げ、更なる収入未済額の縮減と徴収率の向上に取り組んでいます。

また、令和4年度より、県内全54市町村と統一的な広報などの連携を目的として設定している「県下一斉滞納整理強化期間」において、令和5年度は市町村と共同で、滞納者の自宅の搜索や不動産の公売を行うなど、滞納の早期完結と徴収率向上に取り組んでいます。

県では「信頼に基づく自主納税の確立」、「創意に基づく責任ある運営」、「公平に基づく課税」、「公正に基づく徴収」の4つを基本方針に、適正かつ迅速な賦課徴収事務の執行、徹底した徴収対策、納税者の皆様方への適切かつ丁寧な対応など、県民の皆様方に信頼される税務行政の確立を目指してまいります。

本書は、令和4年度の県税の賦課・徴収の実績を中心に各種資料を掲載したものであり、皆様幅広く御活用いただくことで、県税に対する御理解を一層深めていただくことにつながれば幸いです。

令和6年2月

千葉県総務部税務課長

吉 田 明 彦